

別冊 Intoxicate

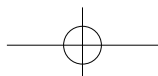
Wedding

intoxicate locates the best wedding place for music lovers!

2016 March

TAKE FREE

TOWER RECORDS 
<http://tower.jp/>



INTERVIEW

SAKU

キラキラと光の差し込むチャペルと
新しい季節の始まりを飾るラブソング



Saku

1992年11月19日広島県生まれ。横浜出身のシンガーソングライター。2015年4月29日、SPACE SHOWER MUSICより1st ALBUM『FIGHT LIKE A GIRL』(Pro. 吉田仁、野村陽一郎、カジヒデキ、堀江博久、アナログフィッシュ、SISTERJET 他参加)と、有村架純主演・映画『ピリギャル』劇中歌『START ME UP』のメジャー・シングルと2作の同時発売で異例のメジャー進出。2015年夏には大型フェス『ROCK IN JAPAN FES 2015』、北海道『JOIN ALIVE 2015』に出演を果たす。

- ▶ official site : <http://sakumusic39.com>
- ▶ twitter : <http://twitter.com/OfficialSaku>
- ▶ instagram : <http://instagram.com/sakumusic39/>

TOWER RECORDS INFORMATION

Saku「春色ラブソング」発売記念
ワンマンライブ開催決定！

3/12(土)16:30 開場 / 17:00 開演 (19:00 終演予定)
会場 : TOWER RECORDS SHIBUYA B1F CUTUP STUDIO



NEW

春色ラブソング

Saku

[Sony Music Associated

Records AICL-3047]

2/24 発売

とびきり甘酸っぱい新曲《春色ラブソング》と 春色のシャンパンで出会いのシーズンに祝福を！

取材・文＝ 桑原史朗 写真＝ 橋本直己



東中野にある結婚式場、west53rd 日本閣。ガラスと大理石で覆われたチャペルには〈グランドマザー〉という名で愛されてきたパイプオルガンがあり、多くのカップルの輝かしい門出を祝福してきた。ガラス張りでも柔らかな自然光が射し込む開放感満点の披露宴式場も素敵だ。木々の緑が鮮やかに映え、春色の花が咲く季節はもうすぐだってことを教えてくれる。そんな場所で、シンガー・ソングライターのSakuにメジャー・セカンド・シングル《春色ラブソング》について話を聞いた。

「ファースト・シングル《START ME UP》は学生さんからすごく反響があって。卒業してからだいぶ経っていますが、一周回ってというわけじゃないけど学校を舞台にしたストレートなラブソングを書きたいと思ったんです。こんなにストレートなものを書くのもひさびさでした。春が来て桜の木を見たり、春風を感じたりすると、良くも悪くも気持ちが新しい方向に持っていかれてしまう。新しい季節のはじまりの前に大事な人に大切な想いを伝えたい、そんなドキドキする気持ちを描きました」

手が届きそうなくらい近くにいるのにいつも遠いままで、交わせる言葉は〈おはよう〉ぐらい。そんな青春感満点なシーンを初々しさいっぱい歌声で描き出していくSaku。「少女漫画を描くような気持ちで歌詞を書いたんです」というが、物語の吸引力はあきらかに《START ME UP》の上をいっているし、フォーキー

な感覚を重視した中間的なサウンドが楽曲の間口を広げる効果を生んでいる点も見逃せない。何よりも、青春時代がこんな色合いだったら最高だったな、と思わせてしまうところがこの曲の得難い魅力だ。

大ヒット映画『ピリギル』の劇中歌《START ME UP》でメジャー・デビューしてからもうすぐ1年。4年間務めたタワーレコードも卒業した。

「あつという間だったけど、人との出会いが格段に増えて、もっと頑張らなきゃって気持ちにつながりました。とにかくタワーレコードで働いた経験が私のなかでとても大きなものなんです。先輩からたくさん音楽を学ばせてもらって。何でも吸収する姿勢は変わらず持ちつつも、リスナーとの1対1の関係をより密にしていきたい。《START ME UP》ができたことで、もっと自分を解放しようって気持ちになったんです。それによってカッコいいと思う形にこだわりつつも幅広い人たちに届けたい気持ちも強くなって、そのバランスをうまく取っていくのがいまの理想です」

彼女の目の前にあるのは、世界で最も愛されているシャンパンブランド〈モエ・エ・シャンドン〉のロゼ アンペリアル。その昔、フランスの美女とうたわれ、ルイ15世の寵愛を受けたポンパドゥール夫人が「飲んだあとに女性を美しくするのはシャンパンだけ」という言葉を残しているが、まさに春色をしたそのシャン

パンは、頬の辺りに持っていくとチーク効果もあるという。一口飲んだ彼女の笑顔が思いっきり弾けた。

「飲みやすい！フルーティーな香りが口広がる。これは女性に喜ばれるでしょうね。シャンパンはここ半年ぐらいでよく飲むようになりました。たこ焼きにシャンパンとか、すごく美味しいんですよ。このロゼ、ほんと色味も良いですよ。なんだか祝福感がありませんか？」

祝福感に溢れた季節をいっそう鮮やかに惹き立てる《春色ラブソング》。この曲を聴いた女子が勇気を持って意中の人に告白し、それがめでたく実ってやがて結婚まで至り、このような場所で式を挙げることになったら……「それは素晴らしいですね」と微笑む彼女。そこでいっしょにそんな想像を膨らませてしまったのは、モエ家とシャンドン家の結婚から誕生した愛のシャンパンメゾンの春色に輝くロゼ アンペリアルがそばにあったせいかもしれない。最後に、Sakuさんにとって理想の結婚式は？

「いままで出会ったすべてのミュージシャンに歌ってもらいたい！ウエディング・ドレスを着て歌ってみるのもいいですね。いつかウエディング・ソングも作りたいと思ってますよ。リアリティーを感じる年頃になる前に想像を膨らませながら。そうですね、曲調はソフト・ロックっぽいのがいいかなあ……」



PRESENT グラスの縁に連なる泡のリングをイメージしたモエ・エ・シャンドンのボンボンリングホルダーを1名様にプレゼント！

物語のある二人には、物語のあるシャンパンを。

「モエ・エ・シャンドン」の歴史は、1743年、クロード・モエによってフランス、シャンパーニュ地方のエペルネにモエ社が設立されたことに始まります。創業者であるクロード・モエのひ孫アデライド・モエとピエール・ガブリエル・シャンドンが結婚したことで誕生した「モエ・エ・シャンドン」。ブランド名のエ (&) は2つの家、モエ家とシャンドン家が結ばれたことを意味しています。祝福のシャンパンの物語は、まさに結婚からはじまったのです。上質なシャンパンをグラスに注いだときだけできる白い泡の輪は真珠にも見立てられ「コリエ」（首飾り）と呼ばれ、結婚指輪に次ぐ第二のリングとしてふたりを祝福してくれるのです。「シャンパンの魔法を世界中に」という願いのもと、270年もの長きにわたり、世界中で最も愛されるシャンパンを作り続けています。

www.moet.jp

※ご記入いただいた情報は、プレゼント発送のほか、弊社からの各種ご案内（イベント、アーティスト情報など）、読者の方々の統計資料の作成に使用させていただく場合があります。尚、ご記入いただきました情報はタワーレコード（株）で保管し当選者様の発送先を弊社指定の宅配業者へ開示する以外、第三者へ提供することはありません。※タワーレコード（株）のプライバシー・ポリシーに関しては、次のサイトをご参照ください。http://tower.jp/information/privacy

Sakuさんと有村架純さんが登場したNO MUSIC, NO LIFE! ポスターを3名様にプレゼント！

★プレゼントの応募方法★

今回のWedding特集、いかがでしたでしょうか？感想と、ご希望のプレゼントを明記の上、ハガキ、またはE-mailにてご応募ください。お名前／年齢／性別／ご職業／ご住所をお忘れなく！

【宛先】タワーレコード株式会社
intoxicate編集部
〒143-0006 東京都大田区平和島
4-1-23 JS プロダクティブ 7F
E-mail: intoxicate@tower.co.jp
【応募締切】4/20（水）必着。

INFORMATION

モエ・エ・シャンドン ロゼ アンペリアル 限定パッケージが発売中！

華やかなロゼ色のスーツに包まれたフルボットのロゼ アンペリアル。持ち運びにも便利でギフトやお花見にもぴったりのロゼスーツで、出会いのシーズンに祝福を！

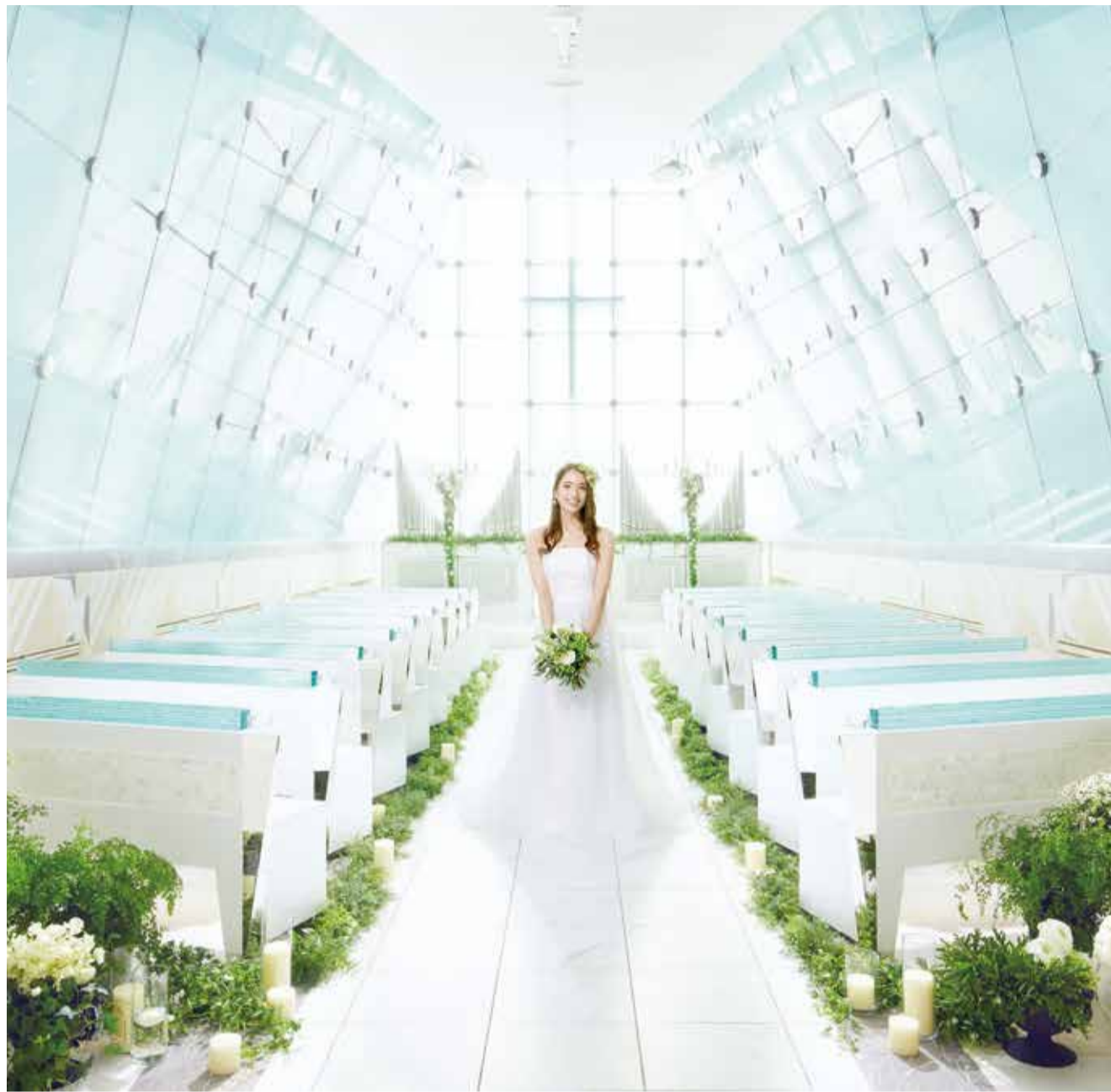
内容量：750ml
7,800円（税抜）

● west53rd 日本閣 (ウエスト フィフティサード)

約 2 万組の幸せを見届けてきた パイプオルガンが包み込む新たな出発

west53rd 日本閣

取材・文 = 渡辺謙太郎



JR 東中野駅から徒歩約 1 分、東京メトロ東中野駅から約 5 分の好立地にある「west53rd 日本閣 (ウエスト フィフティサード)」。料亭発祥の結婚式場で、昨年創業 95 年を迎えた老舗だ。…と書くと、本格的な和の式場を思い浮かべる方が多いかもしれない。だが、実際に足を運ぶと、眼前に広がるのは 2005 年にリニューアルオープンしたガラス張りのスタイリッシュな外観の建物。美術館が数多く点在するニューヨーク西 53 番街をイメージしたそうで、内装にはアールデコの華やかなテイストが大胆に取り入れられているフロアも。また、ロビーにはドイツ製フォイリッヒ (FEURICH) の古いピアノが置かれ、美しく荘重な存在感を醸出。前身の日本閣のロビーでは、このピアノとフルートの生演奏が 1 日中行われていたという。

バンケット (披露宴会場) は大小併せて 3 つ。中小規模の挙式が流行りの昨今にふさわしく、2 人きりから 140 人まで、様々なスタイルの結婚式に対応している。

また、日本閣は料亭発祥だけあって食事も充実。メニューには、和食をベースに洋食の技法も積極的に取り入れた“和モダン”を採用している。旬の食材を活かしたコースは、和洋のシェフが並び立って調理しており、斬新かつ鮮やかな皿が並ぶ (しかも、これらの料理を提供する美しい食器は自社製!)。テーブルにはナイフ & フォークと共に箸も置かれ、老若男女を問わず気軽に楽しめるのが嬉しい。

現在、創業 100 周年に向けてさらなる高みを目指す日本閣は、今年 1 月に 5 階の空間を丸々リニューアル。ここには元々、8 メートルもの高さの吹き抜けを持つガラスと大理石のチャペルがあり、天井から降り注ぐ美しい光は、約 10 年に渡って多くのカップルの特別な日を祝福してきた。それが今回のリニューアルでは、魅力がさらにパワーアップ。列席者の座るシートが、椅子からオーダーメイドのベンチシートに変わった。このシート素材には、光を巧みに反射させる積層ガラスと本物の貝殻を使用。そのお陰で、自然光を映して輝くチャペルは、より一層の光に包まれる空間に進化を遂げた。また、ホワイエと一体のガーデンテラスは年間を通して緑であふれ、列席者全員で挙式の余韻を楽しめる演出になっているのも素晴らしい。

そしてもう一つ、このチャペルの最大の魅力と言えるのが、会場内に設置されているパイプオルガン。1986 年に前身の日本閣がロココ調のスタイルでオープンした際、ガーデンチャペルに設置された由緒ある楽器だ。当時は神前式が多く、独立型のチャペルも珍しい時代だったため、庭園内に離れて建つ洋館はたちまち大人気に。中でも、パイプオルガンはその目玉になった。この楽器はアメリカから輸入したローランド社の製品。持ち前の温かい音色から、スタッフによって「グランドマザー」と命名され、これまでに約 2 万組もの結婚式を見守ってきたそう。その抜けが良く輝かしい高音や、五臓六腑にしみる重低音は、ガラスと大理石の新たなチャペルに場所を移しても音響抜群。音楽好きのカップルには、この上なく幸せで嬉しい思い出になることだろう。

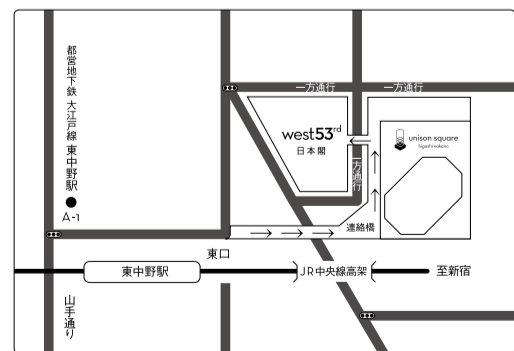
CHECK!

- 限定プレゼント!
ご予約時「intoxicate」を見たと言ってブライダルフェアにカップルでご参加頂きご結婚式の相談をされた方にクオカード 2,000 円分をプレゼント! (ご予約時にお伝え下さい)
- 2016 年 1 月にチャペルリニューアル! それを記念したプラン登場!
詳しくはお問合せ下さい。
- ブライダルフェア開催中
(平日 10:30 ~ 20:00 (火曜定休) / 土日祝 9:00 または 9:30 ~ 20:00 ・予約制)
無料試食 (シェフの豪華プレートやランチコース、パティシエール特製スイーツなど、内容は開催日によって異なります)、チャペル会場見学、プランナーとの相談会等
- レストランやカフェ、女性向けイベント「キレイになる女子会」など結婚式以外でもご利用いただけます。最新情報は HP や Facebook でチェック!



■ west53rd 日本閣

【住所】〒164-8577 東京都中野区東中野 5-2-1 【お申し込み・お問い合わせ】west53rd 日本閣 (ウエスト・フィフティサード) 【PHONE】03-3367-2222 (10 時 ~ 20 時 火曜定休) 【E-mail】info@w53.jp
www.w53.jp/



●ビルボードライブ東京／ビルボードライブ大阪

毎夜世界のトップアーティストがパフォーマンスを繰り広げるプロユースのステージで！

billboard
LIVE
● TOKYO ● OSAKA ●

取材・文＝ 桑原史朗



いつだって上質な音楽と料理でもてなしてくれる信頼のエンターテインメント空間、Billboard Live TOKYO。ライブ前にはステージ後方に広がるクリスタルな夜景が楽しめるのも大きな魅力だ。永遠に残るような夜をいくつも提供してきた当会場で、オリジナルなウェディング・パーティーを計画するカップルも多いと聞く。一生に一度の晴れ舞台をあんなゴージャスなステージの上で迎えることができたなら、さぞかし気持ち良いに違いない。

「カーテンの開け閉めが自由に行えるので、さまざまなドラマティックな演出を施すことができます。ステージが華々しく映えるのは11月あたり。ちょうどその頃、東京ミッドタウンのライトアップが始まって、バックに鮮やかなイルミネーションがバッチリ浮かび上がるんです。そこはねらい目だと思います」と支配人の吉本孝裕さんが教えてくれる。

利用されるカップルのほとんどは、やはりというべきか、かなりの音楽通だという。新郎新婦のどちらかが演奏家である場合は、余興で披露する演奏に並々ならぬこだわりを示されることも多いのだとか。「こだわられる方は10バンドぐらい呼ばれる方もいらっしゃいますよ」というが、もはやちょっとしたフェスだ。音響設備が充実していることもあり、DJを入れての宴を催す際はかなり本格的なダンス・パーティーを作り上げることができるようだ。

「利用者様はプロデュース力の高い方だと思いますが、すべてにおいてこだわりを持たれている方が多いように思われます。利用

時間が朝の10時から夜の10時までOKなので、リハを徹底的にやられる方もいらっしゃると思いますし」

音楽ファンにとって嬉しいのは、新郎新婦の控室は普段アーティストが利用している楽屋であるということ。本番で良いパフォーマンスを披露できるようにウォーミングアップしているときなどはきっと大好きなミュージシャンと同じような気分が味わえたりするわけだ。

吉本さんにサービスのこだわりポイントについて尋ねてみると、「こだわりのないところでしょうか。基本的にどうぞご自由にお使いください、というスタンスなんです」という返事が返ってきた。主役たちの自由なアイデアを実現させるカジュアルな空間を提供することがモットーなのだということだが、そんな吉本さんにとって強く印象に残っているパーティーはどんなものだったのだろうか。

「阿波踊りを通じて知り合ったというご契約者様のパーティーですね。最後に250名ほどのご来場様が法被を着て阿波踊りをおどられて。そして全員がステージの上で集合写真を撮られたんですが、上から見てみるとまるでお祭りのような風景で(笑)。こういうことが可能なのは当店ならではのようです」

阿波踊りの強烈なグルーブに揺れる六本木ナイト。壮観であったろうことは容易に想像がつく。最高にオリジナルな結婚パーティーを望んでいるあなた。一度会場に足を運んでみてイメージを膨らませてみてはどうだろうか。

■ Billboard Live TOKYO

【住所】〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番4号
東京ミッドタウン ガーデンテラス4F
【お問い合わせ・お見積もり】
ビルボードライブ東京 個人貸切担当 吉本
【PHONE】03-5414-5861 (平日10時～19時)
【E-mail】t.yoshimoto@hcl-c.com
www.billboard-live.com/



■ Billboard Live OSAKA

【住所】〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目2番22号
ハービス PLAZA ENT B2
【お問い合わせ・お見積もり】
ビルボードライブ大阪 阪神コンテンツリンク (株)
プライダル担当
【PHONE】06-6347-5495 (平日10時～19時)
www.billboard-live.com/



世界のハッピーなパーティー・ミュージック！

人生で最も大切なイベントのひとつ、結婚式。ドレスや料理、招待者リストに祝辞の人選、etc. いろんなことに気を回す必要がありますが、忘れちゃいけないのがBGM選曲。音楽をはずしたらすべて台無し、ってことにもなりかねません。というわけで、ここでは、センスいいね！って思われるパーティーのためのワールドミュージックを紹介しましょう。

おしゃれなパーティーにしたいなら、フランス・パリの雰囲気でもミュゼットはいかがでしょう。ミュゼットとはアコーディオン主体のポピュラー音楽で、哀愁を帯びたメロディやスウィングする3拍子のリズムが特色。そんなミュゼットの名演が集められた『フレンチ・カフェ・ミュージック〜パリ・ミュゼット〜』と『フレンチ・カフェ・ミュージック〜パリ・ミュゼット2・セーヌ川左岸のロマンス〜』の2枚は定番アイテム。リシャール・ガリアーノやダニエル・コランといった名手による本場の演奏が、入場から歓談タイムまで様々なシー

ンを彩ってくれるはず。

都会的な披露宴もいいですが、リゾート・ウェディングも魅力的。リゾートといえば、やっぱりハワイでしょう。ハワイの音楽と一口に言っても、その種類も様々。しっとりと聴かせたいシーンなら、ピアノ・ソロはいかがでしょう。大ベテランのレネ・パウロが演奏する『ワイキキ〜ビューティフル・ハワイアン・メロディー〜』と『スターダスト〜スウィート・メロディー・フォー・ハワイ〜』の2枚は、ハワイの名曲からジャズのスタンダードまで珠玉のメロディがたっぷり。まるやかでちょっぴりセンチメンタルなピアノの響きは、両親への手紙のBGMに使われたら、なんて考えるだけで涙が出てきます。

同じハワイアンでは、ギター演奏もおすすです。ハワイにはスラックキー・ギターという独特のチューニングを施した奏法があるのですが、現在最高峰といわれるのがケオラ・ビーマー。彼が弾く穏やかな調べが流れていけば、お酒や料理も

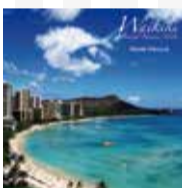
さらに美味しく感じられそう。『カ・レオ・オ・ロコ〜優しきハワイアン・ララバイ〜』や『コロナへ〜ハワイ、そよ風のギター〜』といった歴史的な名盤は押さえておきたいところです。同じくスラックキー・ギターの巨匠ジョージ・クオが、スティール・ギター奏者のバーニー・アイザックスと組んだスウィートな雰囲気の『ハワイアン・タッチ〜甘きスティール・ギターの調べ〜』も、合わせてセレクトしておきたい作品です。

最後に、同じリゾート・ウェディングでも、沖縄を舞台にするならやっぱり沖縄音楽を選曲したいところ。そんな時は『沖縄おめでたい歌 決定盤』さえあれば、すべてカバーできるはず。祝い事には欠かせない古典の『かぎやで風』から、カチャーシーで盛り上がる『唐船ドリー』まで、とにかくおめでたい宴になること間違い無し。名人たちの演奏で盛り上がっていただきたい一枚です。

文=栗本齊（旅&音楽ライター/選曲家）



フレンチ・カフェ・ミュージック〜パリ・ミュゼット2・セーヌ川左岸のロマンス〜
ドミニク・クラヴィク
ダニエル・コラン
[RESPECT RECORD RES-127]



ワイキキ〜ビューティフル・ハワイアン・メロディー〜
レネ・パウロ
[RESPECT RECORD RES-183]



カ・レオ・オ・ロコ〜優しきハワイアン・ララバイ〜
ケオラ・ビーマー
[RESPECT RECORD RES-259]



沖縄おめでたい歌 決定盤
v.a.
[RESPECT RECORD RES-157]



ハッシュタグ「#タワレコ結婚式ソング」結婚式にピッタリな楽曲を教えてください！

結婚式で流れる音楽というのは、主役の2人を演出するだけでなく、その晴れの日を大きく印象づけることになる特別なアイテムですね。思い出の曲や定番の曲をうまく組み込むのは腕の見せ所。みなさんはどんな音楽の流れる結婚式をイメージしていますか？今回募集した「結婚式ソング」はまさに旬な“これぞウェディング！”が詰まっています！

ウェディング・シーンだけでなくテレビなどでも耳にすることの多い『嵐/愛を叫べ』は2010年代を代表する曲に。また、PVがまさに結婚式会場という『Maroon 5 / Sugar』に1票の声もありました。絢香やシェネルなど広がりのある女性歌手の歌声から、星野源、高橋優といった内容重視の男性ポップ、洋邦問わず幅広く集まった印象。やはり結婚に寄せる想いは人それぞれ。両親へ・愛する人へ・友達へ、伝えたいメッセージは人の数だけあるということがよく表れた結果となりました。皆様のご協力に感謝！（文=タワーレコード本社 板谷祐輝）



にじいろ
絢香
[A stAtion
AKCO-90024/B]
(CD+DVD)

くだらないの中に
星野源
[SPEEDSTAR RECORDS
VICL-36633]

twitter で聞いた「結婚式にピッタリなウェディングソング」

アーティスト名	曲名
maroon5	Sugar
KEITA	Changed My World
AZU	angel
嵐	OneLove
嵐	愛を叫べ
星野源	くだらないの中に
絢香	ずっとたいせつなキモチ
絢香	にじいろ
大橋トリオ	HONEY
フジファブリック	wedding song
高橋優	あなたとだから歩める道
SMAP	STAY
シェネル	Happiness
Hilcrhyme	大丈夫
MONKEY MAJIK	ただ、ありがとう
Ed Sheeran	Thinking out loud
I DON'T LIKE MONDAYS.	SING
Bruno Mars	Marry You

音楽、詞、どこをとっても
厳肅さや華やかさに、温かさ
優しさが感じられるので。
→嵐/愛を叫べ

MVも結婚式に突然登場して
て良いなあ！好きな曲。
→maroon5 / Sugar

大好きです！この曲を聞くと、両親
にありがとうって伝えたい言
葉が歌詞になっていて素敵です。
→AZU / angel

歌詞に込められた意味がとても素敵
で結婚式ソングにぴったりです♡
→KEITA / Changed My World

最近よく結婚式で聞き、幸せな
気分になる大好きな曲です。
→嵐 / OneLove

合コンシェルジュ絵音さんに、男女の出会いを演出する技をちょこっと教えていただきました！

取材・文=高見一樹

取材の冒頭に「最近の男子は元気ないですね」という最近の女子にありがちな一言を聴かされて内心ニヤニヤしてしまう50代の私ですが、そんな私のような人、最近、巷に増えていませんか。しかし自分の息子世代が婚期を迎えても浮いた話ひとつないというのは最近のお茶の間=父母に遍在する頭の痛い、不安ではないだろうか。

そんな男女の最大の問題となりつつある「出会い」の渦中に自らを投げ込みながらプロデュースもする「合コンシェルジュ」の絵音さん。絵音さんは、これまでに2000回を超える合コンに携わり、一般社団法人日本合コン協会を設立したり、男女の恋にまつわるの本を出版し、『恋クラ』、出会いを演出するクラシックのコンピレーションをリリースした。

「合コンは、明治時代に生まれた文化なんです。旧制高校の寮学生達がお菓子を持ち寄りながら語り合う会として始まったんですね。そんなオーセンティックな男女の出会いの場所で音楽の教養は今、果たしてどんな査定を受けるのか。CD何枚ももっています！なんていう迂闊なアピールはやはりきつとハシタナイ。枚数は教養とはいえないし、それぞれ出会うことだけが目的で同じCDをいまや数百枚も買っている男子もいる。『恋クラ』を選曲、リリースした本人にこんな質問どうかとは思いますがクラシックを聴く趣味なんていうのは、合コンではアウェー感を醸し出す話題ではないだろうか。

「女子のなかには、学生時代に吹奏楽やっていた人が多いんですよ。吹奏楽がきっかけでクラシックを聴く、またピアノを習っていた延長線でクラシックに馴染みがある女子の割合は高いです。それに音楽の趣味は『初めまして！』ではじまる合コンでは、とてもわかりやすく自己紹介できる話題ではないでしょうか」

なるほど！ イントキの男性読者が喜びそうな情報だが、結局こういうことをネタに仕込んで参加するのも、やはり40代以上の男性なのだという。

「合コンがきっかけで結婚まで進むカップルの傾向として、年の差婚がとても増えています。合コンの場所を楽しむ！という男性は、やはりアラフォー世代ということになりますね〜。現在も合コンシーンを盛り上げているのは、アラフォー・アラフィフ世代の男性ですね。やはりバブルを経験した人達のパワーは別格です（笑）」

いまだきの男子は、何事にも慎重なのだそう。傷つきたくない！という誰にもありがちな心のブレーキが効きすぎるようだ。そんなブレーキやハードルを下げるために意外な効果を発揮するのが、クラシックだそう。

「合コンが終わって自宅で一息つくのにも、クラシックはとてもいいです。リラックスできますね。それにパーティーに行く前の気分を整理したり落ち着かせてくれるそんな効果があると思います。『恋クラ』のライナー・ノートにも書きましたが、出会いの前夜の気分を整えることがとても大切なんです。そんなときにこのCDを聴いて、出会いからゴール、結婚までを想像して合コンに来てほしいですね」

音楽はいつも恋のかけひきを演出し、クラシックはそんなかけひきに何百年ものあいだ関わってきた。時を超え、洗練された恋の時間を刻みながら熟した響きというわけで、やはり大人の智慧に子どもはかてません、ということか。男子には是非、クラシックで背伸びしていただきたいと思いつつ、いいかげん悪知恵ばかりはたらかせる男性諸君には自制を促したいところだ。未来の茶の間の入り口に流れるのは、どんな音楽？と女子に聞かれたら「クラシック」、ということにしばらくはなりそうだ。



絵音 (えのん)

合コンシェルジュ・一般社団法人日本合コン協会 会長
タレント時代から2000回以上の合コンに携わり、2012年5月8日「コンパの日」に一般社団法人日本合コン協会を設立。合コンや街コンイベントを手掛ける「合コンシェルジュ」として、メディア出演や著書出版など多数。ワーナーミュージック・ジャパンより発売された、『恋のスイッチをONするクラシック』をプロデュース。

■オフィシャルブログ「ENON'S BAR」
ameblo.jp/enon0820/



恋のスイッチをONするクラシック
v.a.
[Warner Music Japan WPCS-12759]

恋する映画

CINEMA INFORMATION

●これは、本当に大切なものは何かをそっと教えてくれる“ギフト”のような物語。

人生は小説よりも奇なり

監督・脚本：アイラ・サックス 脚本：マウリツィオ・ザカリ
出演：ジョン・リスコー/アルフレッド・モリーナ/マリサ・トメイ/ダーレン・バロウズ/チャーリー・ターハン/シャイアン・ジャクソン/マニー・ペレス/クリスチャン・コールソン
配給：コムストックグループ (2014年/アメリカ/95分)
©3/12 (土) よりシネスイッチ銀座ほか全国順次公開
jinseiha.com



© Love is Strange, LLC

ニューヨーク、マンハッタン。39年来連れ添ってきた画家のベンと音楽教師のジョージは念願がなつて結婚した。周囲の祝福を受けて、二人の新たな生活は順調に始まるはずだったが――。同性同士の入籍が理由でジョージは仕事をクビになり、これまで絶妙なバランスで保たれていた生活はいとも簡単に崩れてしまう。保険、年金、不動産……現実問題が次々

と押し寄せ、二人は長年暮らしたアパートメントを離れ、新婚早々に別居を余儀なくされる。社会からの根強い差別と肩身の狭い居候生活に心が押しつぶされそうになりながら、ベンとジョージはありのままの自分を理解してくれる人がいることの幸福に改めて気づく。そんな矢先、予期していなかった別れが訪れる…

●4人の娘たちの結婚相手は、みんな外国人!? 毎日が異文化バトルの家族に、愛と平和は訪れるのか?

最高の花婿

監督・脚本：フィリップ・ドゥ・ショーヴロン
脚本：ギィ・ローラン 音楽：マルク・シェアラン
出演：クリスチャン・クラヴィエ/ジャンタル・ロビー/アリ・アビタン/メディ・サドゥアン/フレッド・チョウ/ほか
配給・宣伝：セテラ・インターナショナル (2014年/フランス/97分)
©3/19 (土) より YEBISU GARDEN CINEMA ほか全国順次公開
www.cetera.co.jp/hanamuko



© 2013 LES FILMS DU 24 - TF1 DROITS AUDIOVISUELS - TF1 FILMS PRODUCTION

フランスのロワール地方に暮らすヴェルヌイユ夫妻には、他人には相談できない悩みがあった。3人の娘たちが次々とアラブ人、ユダヤ人、中国人と結婚、様々な宗教儀式から食事のルールまで、異文化への驚きと気遣いに疲れ果てていた。そんな時、最後の希望だった末娘が、カトリック教徒の男性と婚約！しかし、大喜びの夫妻の前に現れたのはコートジボワール

出身の黒人青年だった。しかも、フランス人嫌いの彼の父親が大反対。果たして、色とりどりの家族に愛と平和は訪れるのか――？ 監督の実体験に基づいたリアリティに満ちた物語。まさに今を生きるすべての人が向き合うべきワールドワイドなテーマを軽やかに描いたことが絶賛され、世界でも145カ国で公開された話題作が、いよいよ日本にも上陸する！

★ RECOMMENDED MUSIC from intoxicate



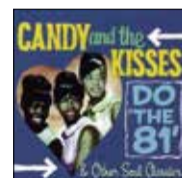
Back on the Block
Quincy Jones
[Qwest B000515402]

ブラジリアンポップスならではのウェディング・ソングといえばイヴァン・リンズの『セブテンパー〜ブラジリアン・ウェディング・ソング』がおすすめ。大ヒットしたクインシー・ジョーンズのヴァージョンでは、Take 6のコーラスが、POPながらも荘厳でリッチな雰囲気を出し出す。POPマナーのウェディング・ソングの超隠れ名曲ぜひ、一度(?)使ってみて。(takami)



踊るアイラブユー オリジナル・サウンドトラック
v.a.
[Sony Music Japan International (SMJI) SICP-4468]

昨年公開になった映画『踊るアイラブユー』のサントラです。ミュージカル映画ですが、ミュージカルに縁なかった人にこそおすすめ。1980年代のマドンナ、シンディ・ローパー、ヒューイ・ルイス&ザ・ニュース、パングルスらのヒット曲がニュー・アレンジでカヴァーされています。これは盛り上がりませよ〜！ (sasaki)



Do "The 81" And Other Soul Classics
Candy & The Kisses
[Castle Music CMRCD264]

なんとといっても1曲目『The 81』！暗転した会場で観音開きの分厚いドアが開いて、スポットライトが主役の2人を照らすと自動的に脳内再生される、ハッピーな1曲です。キャンディ&ザ・キッシーズは60年代のガールズ・グループ。音楽好きの友人も納得のウェディングソングで祝福を！ (wakigawa)



Fiddler On The Roof (Musical/Original 1964 Cast Recording)
Original Soundtrack
[Masterworks Broadway 88697499202]

とあるロシアの小さな村に住む3人の年頃の娘を持つ家族。伝統に従い決められた婿をと結婚することに反発し好きな人と結ばれることを望む娘たちの姿に、本当の幸せとは、愛とは何かを見つめなおす父の姿が美しい。ロシア民謡をベースにした力強くもどこか悲しみのあるメロディが結婚の重みを感じさせてくれます。(hashimoto)



ウェディング・ジャズ
v.a.
[Verve/ユニバーサル UCCV-4105]

洋楽だと歌詞の内容が気になるという方にもお勧めです。ルイ・アームストロングの『この素晴らしい世界』から、サラ・ヴォーンやビリー・ホリデイなどのラブ・バラード・ヴォーカルばかりを集めた1枚です。何とも心地よい唄声は決して邪魔にはならないので、披露宴や二次会の歓談BGMにはもってこいです！ (kataoka)

発行人=嶺脇育夫 広告宣伝/メディア本部=田中伸明 メディア編集部=西尾大伴 編集部=佐々木透子、脇川飛鳥、高見一樹
アートディレクション & デザイン=橋本直己 (Hashimoto Design) 広告=片岡裕希子/メディア営業部
発行=タワーレコード株式会社 広告宣伝/メディア本部 メディア編集部 intoxicate@tower.co.jp 〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプロレビル7F 印刷=凸版印刷株式会社
©2016 by TOWER RECORDS JAPAN INC. 禁・無断転載 Printed in Japan

TOWER RECORDS